第　3回　宮城舞台技術者協会会議　議事録

日時	2020　年　　6　月　　16　日　　13　時　　10　分　～　　15　時　　00　分	場所	仙台GIGS
議題	・宮城舞台技術者協会の事業について ・GIGSプロジェクトについて		

出席者	今野芳明（ファクトリーK）	石井忍、小林道子（舞台監督工房）		斎藤豊寿、斎藤環江、髙橋柾一（ライティングケン）	
	半田透（ステージクルー）	永瀬博和（サウンドプラス）	寳玉浩太朗（コントライブ）	佐藤菜奈恵、羽田貞浩、鎌田美咲（ステージワーカー）	
	清水目貴義（パラダイスプロ）	荒井豪（エーライン）	國分秀昭(HK customworks)	棟居尚(ムネスエ音響)	市川優子（GET TOUGH）
	関紀子	渋谷昌弘（ピーエムシー）	志賀智子（志賀舞台照明）	小宮芳紀	太田淳也
	橋本徳郎(フォーバックス)	相沢俊一(バックステージ)	菅原玄哉	山品晃彦(THE MODERN WORLD)	村下弘修（ICC）
				法人代表者、個人事業主 計27名	

決定事項

■宮城舞台技術者協会の目的、事業内容

○別紙のとおり決定とする。

■役員について

○理事は、法人事業主の代表者に引き受けていただく

○監事は、個人事業主の音響、照明、舞台の中堅どころ3名にお願いしたい。今期は、中鉢典男、太田淳也、菅原玄哉の3名で決定。

■GIGS プロジェクトの日程

○7月9日　本番時間13時00分～13時45分 県知事の出席を前提とする

○7月18-19日　STAND UP SENDAI LIVE AID の協力 → **主催者さんに対してこちらの準備が間に合わないため、今回は無しとなりました。**

■次回の開催について

○6/23 13時～　仙台GIGS **→ せんだい農業園芸センター　管理研修棟　和室 に変更します。**

会議内容

■前回（第2回)の開催からの報告

○協会の集まりに参加できなかった時などに、どんな話し会い等がなされたか知りたい。→ HPを作成いたしました。

○私達が協会等の活動をするにあたり、コロナにかかるリスクがあるのではないだろうか。事前にPCR検査等受けさせるとか考えているのか。

→ 現状では、ララガーデン長町の4階にある「おおはし皮膚科」では、1回1万円でPCR検査をうけることができる。しかし、協会として、事業毎にPCR検査を実施することは、予算的にも現実的ではない。これまで同様、マスク、手洗い等の実施をしっかりしながら、今後の状況をみながら判断していきたい。

補足：レントール仙台さんでは、飛沫感染対策のパーテーション、非接触で発熱者を検出することが可能なAIサーマルカメラの貸し出しを始めた。

ニッケンさんはまだ導入していません。体温計というと医療機器になるので、非接触型温度計という言葉を使う会社さんもあります。

いわゆる非接触型体温計は各社数しかないため、（レントール2個？位）（ニッケン5個）要相談です。一般貸し出しはしておりません。

舞台監督工房にも、2個あります。貸し出し可能です。ICCも「AI温検知カメラ」のレンタルが可能です。後日、詳細を提供します。

サーマルカメラにかんしては、定価の相場が200万前後で、アイリスオーヤマが90万で最近販売開始したとのこと。

○A.今後の団体としての活動目的、事業計画案を示していただきたい。それにより、会員がどんな活動を提案していけるのか、考えやすいと思う。

○Bアフターコロナに目を向けるだけでなく、長い目でみて協会としてどんなことができるのか、しっかり考えて行きたい。

○今後、協会の定義をしっかり決めなくてはならないと思う。例えば、宮城県、仙台の芸術文化をどんな困難な状況でもしっかりとつないでサポートしていく団体であるということを定義とする、など、明確にすることが重要であると思う。

○今後の活動として、コロナが落ち着いた後、講習会等なども視野にいれていったらいいのでは。

会議内容	→ 別紙のとおり、目的、事業内容をまとめました。 → 内容一部修正 → 全員一致で決定する ○前回の時に資料でいただいた、朝日新聞の記事の150万円の助成はどうなったかわかりますか。 → 会議後半で説明 ○わらび座さんが再開されたようだが何か参考になる情報はありますか。 → 調べている途中です。もう少しお時間ください。 ■役員について ○事務局より、提案。理事には、会員の法人の代表者になっていただきたい ○事務局より、提案。監事は、個人事業主さんのなかから、音響、照明、舞台の中から1名ずつお願いしたいと思います。 ○事務局より、提案。また、今回は理事会をもうけておりません。会員数が40社程度ですので、問題ないかと。必要とお考えであれば、設置いたします。ご意見お願いします。 ■役員について決議をする ○全員一致で会名を決定する。 ■定款について ○協会HPの会員ページ内に本会終了後、UPします。各自ご確認の上、ご意見ください。→次回の会合にて決議をいたします。 日本公証人連合会のHPにあります、理事会を設置しない一般社団法人の記載例を参考に作りました。会計監査人、基金非設置のものです。 ■GIGS プロジェクトについて説明 ○GIGSさんのご協力で、模擬ライブを行う。ステージ上は、アーティストの演奏。観客も協会のスタッフ等で賄う。これらを、メディア等を通して発信。 アーティストに関しては、これから最終決定する。技術者は、担当を決めてプロジェクトを進めたい。 **○GIGSさんから、シュミレーションライブの提案** ①宮城県知事へ:GIGS LIVE シンポジウム ～ before daylight get back the MUSIC ～ 知事のスケジュールの都合で、7/9 13:00 ～ 13:45 の時間で開催。会場～開演～終演までの流れを見せたい。協会の存在も伝えていただきたい。 7月開催ということもあり、県内在住のアーティストでなければならない。 会場内は、メガクール空調換気システムを管理しているため、安心して利用していただきたい。また、外のテナントも一部を除き、GIGSさんで借りているため、赤外線サーモグラフィ、検温や手洗い等のシステムも完備。 「知事さんが動けば、メディアも動く。この関係性を生かし、協会会員の現状を知っていただき、知事の発言をもらう」ということがねらいである。 **○GIGSさんから、LIVE AIDへの協力の提案** ①仙台市長へ:STAND UP SENDAI LIVE AID 定禅寺ストリートジャズフェスティバルが、本年は中止となった。(本年は、開催30周年目にあたる) 記念年であったが、中止ということで、無観客ライブの収録配信を行うことになった。7/18～19の2日間にわたって収録を行う。配信日は、 9/12 ～13 の2日間、YouTubeにて。1日あたり、8バンドを予定。2日目のラストに、MONKEY MAJIKを考えている。 メインステージとGIGさんのテナントステージを活用した2ステージ方式をとっていこうと計画中。 ○GIGSさんからの2件の提案は、行政を活用した世論への啓蒙がテーマとなっている。 ○GIGS髙橋会長さんのご紹介 ○GIGSの今後のあらたな取り組みと展開内容:ライブニューシネマの考え ～5G～非接触型新時代の急速到来～もっとより生活の中に～長寿大国日本のこれから ■懸案事項 ○これまで、定禅寺ストリートジャズフェスティバルに関わっていた業者さんが、携わらないのは、問題ないだろうか。 → 現状では、実行委員会としては、今回のLIVEは別ものと考えているので、心配はいらない。(島貫さん代理回答) ○実行委員でもあり、ニュースプロモーションの山崎さん、実行委員長の斉藤さんから、LIVE AIDについて説明(島貫さんの説明と重複内容)

会議内容	■今後の活動提案 ○教育プログラム用映像作成について提案 6/12文化庁から発表された、「令和2年度補正予算等における文化芸術関係者への支援」の中にある「文化芸術活動への緊急総合支援パッケージ」を利用して教育用映像を作成する。音響、照明、道具等各セクションごとに、シチュエーションを分け撮影、編集して動画を作成する。対象は、各社の新人、専門学校の生徒。技術継承の為に幅広く使用して頂く。各分野における技術の内容を開示する事により業界の新人教育に役立てる。北海道の協会で作った映像を参照 https://www.youtube.com/watch?v=WNGTMRl7-a4 現在、関係各所から発売されている映像は、残念ながら、必要なところに届いていない。また、映像内容は記録内容が非常に多い。 今後、文化庁から示される、申請方法も含め、協会として取り組んでいけるか、引き続き検討する。 ■フリーランス等向け最大150万支援について 現在、文化庁からは、全体のイメージ図のみしかしめされておりませんが、これまでの持続化給付金とは、全く違います。対価に対しての支援となっております。情報が発表されましたら、随時お知らせしていきます。 ■6/14にイズミティーでおこなわれたバレエ公演の報告 イズミティーのスタッフの皆さんと協力し、無事に公演を終えることができた。安全衛生管理に大変気を配り公演を行った。まだまだ手探りの部分がたくさんあった。今回携わったメンバーは、舞台監督工房、コントライブ、志賀舞台照明の3社になります。詳しいお話を聞きたい方は、是非直接お問い合わせいただきたい。